

このたび、全国の門徒同朋の皆さまの信託をいただき、真宗大谷派第二十六代門首の座を継承させていただくことになりました。

ここに大谷暢顯前門首が二十四年にわたり教法聞信と本廟護持の門首の責務を全うされ、同朋との交わりを深めてこられたことに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

思えば十年ほど前、鍵役、開教司教のお話をいただき、二〇一四年には門首後継者に選定いただきました。ブラジルで育ち、何も分からず不安な思いを抱えながらでありましたが、多くの方々にお支えをいただき、今日まで歩みを進めることができました。

この上は、同朋会運動をとおして確かめられた「宗憲」のもと、皆さまと共に真宗の教法を聞信し、仏祖崇敬の任にあたり、同朋社会の実現に身命を賭してまいる覚悟であります。

願わくは、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を機縁として、世界中に南無阿弥陀仏のみ教えを届けるべく、力を尽くしてまいりますので、皆さま方からのご支援を、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

二〇二〇年七月一日

真宗大谷派第二十六代門首 大谷 暢裕 (釋 修如)